

工場の防災対策さらに

安江氏が愛知・半田市の企業で
積荷転落防止装置を視察



S・G・Bの前で片山氏②から
話を聞く安江氏①ら

公明党の安江伸夫参院議員は先ごろ、機械器具設置工事などを行う株式会社「ウエイト東海」（片山和洋代表取締役、愛知県半田市）を訪れ、同社が開発した、工場の倉庫などに積み重ねられた荷物の転落を防ぐ装置「Safety Gate Box」（S・G・B）を視察した。山田清一市議が同行した。

倉庫で働く人などの安全を守るS・G・Bは、棚のような形状。中に荷物を積みむと、その重さで作動し、開い

ていたスチール製のゲートが閉まり、地震で揺れてもゲートが荷の転落を防ぐ仕組み。テコの原理を利用しており、電源は不要。昨年6月、国内で特許を取得した。

片山氏は「工場を抱える企業の防災・減災意識はまだまだ薄いと感じる。作業員の命を守るため、行政にも力を貸していただきたい」と話した。

視察を終え、安江氏は「工場の防災に、国としても何か支援できないか考えた」と語った。